（様式第7）

飼養等をする数量の増加、減少等の届出（報告）

□特定外来生物の飼養等をする数量が増加／減少等しましたので、特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（平成16年法律第78号）第5条第4項に基づき付せられた許可条件により、次のとおり届け出（報告し）ます。

□飼養等をする特定外来生物の個体又は器官について、識別措置を講じましたので、特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律施行規則（平成17年農林水産省、環境省令第２号）第８条第２号の規定により、次のとおり届け出（報告し）ます。

　　年　　月　　日

殿

殿

届出（報告）者の住所：〒

：

電話番号： 　　　　　　　　　　電子メールアドレス：

　　　　　　　　　　　　　　　　　　法人にあっては、主たる事務所の所在地及び名称、電話番号、

メールアドレス、代表者の氏名を記入する

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 1.許可内容 | 1)飼養等許可番号 | | |  |
| 2)許可を受けた特定外来生物の種類 | | |  |
| 3)許可を受けた飼養等する数量(単位) | | |  |
| 2.増加／減少があった期間 | 年　　月　　日　～　　　　年　　月　　日　／　□増減なし | | | |
| 3.飼養等をする数量の増加／減少等の内容 | 別　紙（増減・識別台帳） | | | |
| 4.現在飼養等をしている数量（単位） |  | | | |
| 5.識別措置の内容 | 別　紙（増減・識別台帳） | | | |
| 担当者連絡先  （届出（報告）者以外に本届出（報告）に係る担当者がある場合に記入） | 氏名 |  | 所属・役職 |  |
| 住所 |  | | |
| 電話番号 |  | 電子ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ |  |

（記入上の注意事項）

　届出（報告）書の記入に当たっては、以下の注意事項に沿って記入する。日付は届出日（提出日）を入れる。

0.届出内容

数量の増減があった場合は両方の□にチェックし、特定外来生物の指定の際現に国内で飼養している個体の識別措置についてのみ届け出る場合は下段の□のみにチェックする。

1.許可内容等

　1)飼養等許可番号：飼養等の許可を受けた際に許可証に記載されている「許可番号」を記入する。

　2)許可を受けた特定外来生物の種類名：飼養等の許可を受けた特定外来生物の種類名を記入する。

　3)許可を受けた飼養等する数量：許可を受けた際に許可証に記載されている「飼養等をする数量」を記入する。

2.増加／減少があった期間

　届出（報告）の対象となる増加／減少が複数ある場合には、増加／減少があった最初の日と最後の日を記入する。１件のみの増加／減少の届出をする場合は、当該増加／減少があった日を記入する。

　増加／減少がない場合には、「増減なし」にチェックする。

3.飼養等をする数量の増加／減少等の内容

　別紙＜増減・識別台帳＞に記入上の注意事項に沿って記入する。

　別紙＜増減・識別台帳＞に記入すべき内容を別途台帳に記入している場合は、当該台帳を添付することができる。

4.現在飼養等をしている数量

本届出書提出時点で現に飼養等をしている特定外来生物がある場合は、その数量を記入する。哺乳類･鳥類･爬虫類以外の生物であって、飼養等をしている量を数えることが困難なものについては、概数を記入する。

5.識別措置の内容

　別紙＜増減・識別台帳＞に記入上の注意事項に沿って記入する。

　別紙＜増減・識別台帳＞に記入すべき内容を別途台帳に記入している場合は、当該台帳を添付することができる。

（増減・識別台帳）　※許可対象がガー科（愛玩又は観賞の目的に限る）である場合は最終頁の様式を使用すること

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| (1)届出（報告）の内容 | (2)増加／減少等があった年月日 | (3)増加／減少等の理由 | (4)増加／減少する前の数量 | (5)増加／減少等した数量 | | (6)譲受けた／譲り渡した場合の相手の情報 | | | (7)増加／減少等した個体の識別措置の種類 | (8)増加／減少等した個体の識別情報 |
| 増加 | 減少 | 氏名／法人の場合名称 | 住所／法人の場合主たる事務所の所在地 | 許可番号 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| (9)増加／減少等した数量の合計  （期間中の増加数量、減少数量の合計をそれぞれ記入） | | | |  |  |  | | | | |

（記入上の注意事項）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | **飼養等する数量を増加させた場合（新たに飼養等をはじめた場合を含む）** | **飼養等する数量を減少させた場合** | **特定外来生物の指定の際現に飼養している場合** |
| (1)届出（報告）の内容 | 「増加」と記入する | 「減少」と記入する | 「指定の際に飼養」と記入する |
| (2)増加／減少等があった年月日 | 増加した年月日（新たに飼養等をはじめた場合は飼養等を開始した年月日）を記入する | 減少した年月日を記入する | 許可を受けた年月日を記入する |
| (3)増加／減少等の理由 | 輸入／譲受け・購入／繁殖／捕獲／その他（具体的に記入）のうち、該当する理由を記入する | 譲渡し・販売／死亡／その他（具体的に記入）のうち、該当する理由を記入する | 「指定の際に飼養」と記入する |
| (4)増加／減少前の数量 | 飼養等をする数量が増加する前に飼養等していた数量を記入する。ただし、新たに飼養等をはじめた場合は記入する必要はない。  ※アカミミガメ又はアメリカザリガニを学術研究、展示又は教育の目的で飼養等する場合は、輸入又は購入した個体のみを計上する。 | 飼養等をする数量が減少する前に飼養等していた数量を記入する。 | 記入する必要はない |
| (5)増加／減少等した数量 | 飼養等をする数量が増加した量を、増加、減少別に記入する  ※アカミミガメ又はアメリカザリガニを学術研究、展示又は教育の目的で飼養等する場合は、輸入又は購入した個体のみを計上する。 | 飼養等をする数量が減少した量を記入する | 現に飼養している量を記入する |
| (6)譲り受けた／譲り渡した場合の相手の情報 | 購入や譲受けで増加した場合は、購入先・譲受け先の氏名（法人の場合名称）、住所（法人の場合主たる事務所の所在地）、許可番号（相手が飼養等許可を受けている場合の許可番号）を記入する | 販売や譲渡しで減少した場合は、販売先・譲渡し先の氏名（法人の場合名称）、住所（法人の場合主たる事務所の所在地）、許可番号（相手が飼養等許可を受けている場合の許可番号）を記入する | 記入する必要はない |
| (7)増加／減少等した個体の識別措置の種類 | 増加した個体に実施した（既に実施されている）識別措置について、マイクロチップ／識別票・タグ・脚環／入れ墨／標識の掲出／その他（具体的に記入）のうち該当するものを記入し、以下の①～③のうち必要な書類を添付する  ①マイクロチップの埋め込みをした場合は、埋め込みをした事実及びマイクロチップの番号が記載された獣医師の証明書  ②哺乳類・爬虫類の場合で、マイクロチップの埋め込みをしなかった場合は、その理由として、(1)個体が告示で定める月齢･大きさ等に達していないため、(2)マイクロチップの埋込みに耐えられる体力を有しない個体であるため、(3)その他（具体的な理由を記述）のうちから該当する事項を記載した書面。さらに(2)に該当する場合はそれを証明する獣医師の診断書  ③特定飼養等施設に標識を掲出することにより識別措置を実施した場合は、標識の掲出状況が分かるように撮影した写真 | 減少した個体に実施されている識別措置について、マイクロチップ／識別票・タグ・脚環／入れ墨／標識の掲出／その他（具体的に記入）のうち該当するものを記入する | 飼養している個体に実施した（既に実施されている）識別措置について、マイクロチップ／識別票・タグ・脚環／入れ墨／標識の掲出／その他（具体的に記入）のうち該当するものを記入し、以下の①～③のうち必要な書類を添付する  ①マイクロチップの埋め込みをした場合は、埋め込みをした事実及びマイクロチップの番号が記載された獣医師の証明書  ②哺乳類・爬虫類の場合で、マイクロチップの埋め込みをしなかった場合は、その理由として、(1)個体が告示で定める月齢･大きさ等に達していないため、(2)マイクロチップの埋込みに耐えられる体力を有しない個体であるため、(3)その他（具体的な理由を記述）のうちから該当する事項を記載した書面。さらに(2)に該当する場合はそれを証明する獣医師の診断書  ③特定飼養等施設に標識を掲出することにより識別措置を実施した場合は、標識の掲出状況が分かるように撮影した写真 |
| (8)増加／減少等した個体の識別情報 | 増加した個体に識別措置が実施されている場合、マイクロチップ番号、脚環番号、識別票番号など個体に特有の情報を記入する | 減少した個体に識別措置が実施されている場合、マイクロチップ番号、脚環番号、識別票番号など個体に特有の情報を記入する | 飼養している個体に識別措置が実施されている場合、マイクロチップ番号、脚環番号、識別票番号など個体に特有の情報を記入する |

（増減・識別台帳：許可対象がガー科（愛玩又は観賞の目的に限る）である場合）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| (0)特定外来生物の種類（※） | (1)届出（報告）の内容 | (2)増加／減少等があった年月日 | (3)増加／減少等の理由 | (4)増加／減少する前の数量 | (5)増加／減少等した数量 | | (6)譲受けた／譲り渡した場合の相手の情報 | | | (7)増加／減少等した個体の識別措置の種類 | (8)増加／減少等した個体の識別情報 |
| 増加 | 減少 | 氏名／法人の場合名称 | 住所／法人の場合主たる事務所の所在地 | 許可番号 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | (9)増加／減少等した数量の合計  （期間中の増加数量、減少数量の合計をそれぞれ記入）  ＊複数の種を飼養等している場合は種ごとに以下に記入 | | | |  |  |  | | | | |
|  | (9)増加／減少等した数量の合計 | | | |  |  |  | | | | |
|  | (9)増加／減少等した数量の合計 | | | |  |  |  | | | | |
|  | (9)増加／減少等した数量の合計 | | | |  |  |  | | | | |
|  | (9)増加／減少等した数量の合計 | | | |  |  |  | | | | |
|  | (9)増加／減少等した数量の合計 | | | |  |  |  | | | | |
|  | (9)増加／減少等した数量の合計 | | | |  |  |  | | | | |

※１つの許可番号に対して複数の種を飼養等している場合は、「(0)特定外来生物の種類」の欄に報告対象となるガー科の種（例：スポッテッドガー）を記入し、種ごとに数量を記入する。許可対象の特定外来生物が１種類である場合は、当該欄は記入不要。